

会 議 録

(5-1)

会議の名称		令和6年度 第2回 武里大枝市民センター地域づくり推進会議					
開催日時		令和6年10月11日(金曜日)	<table><tr><td>開 会</td><td>午前10時00分</td></tr><tr><td>閉 会</td><td>午前11時45分</td></tr></table>	開 会	午前10時00分	閉 会	午前11時45分
開 会	午前10時00分						
閉 会	午前11時45分						
開催場所		武里大枝市民センター 2階 研修室					
議長(会長等)氏名		会長 山本 健吉					
出席者	委員氏名	(出席人数：12人) 竹部 耕治、原 宏一、庄司 都世子、藤井 美佐子、阿久澤 明美、 鶴見 和弘、角田 範夫、石井 里美、関根 由希、谷口 正憲、 石場 悦子					
	説明者その他	(出席人数：2人) 飯口 信彦（市民生活部長）、関口 信義（武里大枝市民センター長）					
	事務局	(出席人数：2人) 松田 あかね、原田 瞬					
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		次第 1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 武里大枝市民センターのあり方について (2) 武里南地区の魅力と課題について（意見のまとめ） 4 その他 防災・防犯のための拠点としての取り組みについて 5 閉会					
一部公開・非公開の場合はその理由		☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：					
配布資料		資料1（春日部市市民センター概要及び武里大枝市民センター実績） 資料2（武里南地区の“魅力”と“課題”についてまとめ） 資料3（防災・防犯のための拠点としての取り組みについて）					
会議録の作成方法		☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録					
会議録署名の指定		会議録の署名は会長が行うものとする。ただし、会長が不在その他の理由によりやむを得ないと認めれる場合は、副会長または事前に会長から指名された委員が署名を代行できるものとする。					

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	資料の確認。会議を公開する旨の報告。傍聴希望者なしの報告。
	1 開会
会長	2 あいさつ
事務局	規定に基づき、会長が議長となる旨を報告
	3 協議事項
事務局	(1) 武里大枝市民センターのあり方について
	資料1に基づき説明
委員	地域まちづくりの拠点について、互いのつながりの大切さを提唱する 中で、近所の方が孤独死をしたときの対応について、どのように考えるべきであるのか、事務局としての考えを伺いたい。
事務局	市役所のうち、高齢者支援課の管轄であり、地域づくり推進会議の中で具体策を考えることは現時点では考えていないが、地域という枠組みの中で、例えば自治会協議会や民生委員などとともに検討していくべきという側面もあると考える。
委員	亡くなった方の情報などは、自治会協議会などに報告がされるのか。
事務局	個人情報の問題もあり、身内の方はもちろんだが、状況に応じて、警察や民生委員に連絡することはあるかと思うが、自治会協議会への連絡は無いと思われる。
議長	この件については以上とし、次の議題に移る。
	(2) 武里南地区の魅力と課題について（意見のまとめ）
各委員	資料2に基づき、各委員より説明
事務局	それを基に、事務局にてまとめ
委員1	自治会協議会、市民センター、UR等とのつながりが良くなった 売店、特に飲食店が少ない。 今後よりよい地域のためには、若い方が参加することにつきて思う。 市民センターは中心的な立場で活動されており、今後も期待している。
委員2	飲食について、出前をしていくところが全くない。 高齢者の多い団地地区ではとても厳しい状況である。
委員3	特に市（介護保険課）との共催事業が活発になされている。 シャッター通りようになってしまい洋品店が全くない。
委員4	自治会協議会や校長先生そのほかいろいろな立場の人と、このような話し合いの場が設けられていること自体がとても良いことである。
委員5	地域活性化のために、まずは、どんな方向性で進めていくのかを、 しっかり決めていくことが大切。
	子どもたちへの教育を通じて、地域へ出て発信していくことが重要。
委員6	春日部市は農業都市か、文教都市か、商業都市かはっきりしない。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員 7	小さなことでも、地域でできることをコツコツと実行に移していく。
	いろんな場所に見やすく分かりやすい表示物を掲示し、自然とそこに足が向かうようにしていってほしい。
	自治会協議会が主催の「ふれあい喫茶」はとてもいい催しなので、これからも続けていってほしい。
委員 8	特に武里団地は人口ピラミッドが歪な状態である。
	子どもが宝であると思うので、その支援、施策がおざなりだと感じる。
	平日のイベントは、仕事をしており参加は難しい。かといって、働く人にとっては、土日開催の場合でも、体を休めたいという現状がある。
委員 9	武里団地が大好きで、これからも住んでいきたいと思っている。
	以前はよく行われていた「様々な世代の交流」が希薄化している。
	学校との連携の場を作ったら今後につながっていくと思う。
委員 10	武里大枝市民センターや自治会協議会はいろんなことをしてくれているので、私たちとしてはそこに積極的に参加し、周りの人にも参加するよう促すようにしている。
	埼玉自治会協議会の常任理事をやっているが、その課題と同じく、武里団地についても、自治会協議会の加入率が30%程度と低いことが課題であると感じている。
	高齢化率が非常に高く、エレベーターが無いことは大きな問題である。
委員 11	エレベーターを1棟でもいいから設置し、そこに足の悪い人を優先的に引っ越せないだろうかということを各所に申し入れをしている状況。
	まずは、若い人が地域活動に関心が向くような働きかけをしたい。
	自身は自治会協議会に入っているが、地域コミュニティに属するという心理的安全性のようなものは、SNS等の普及により、若い世代ほどそれを求めているないということがあると感じている。
委員 11	体力もあり自分たちでいろいろできるから、より、入る必要性を感じていないのではないだろうか。
	「入っていた方がお得だ」といった考え方が必要なのかなと思った。
	これまで5街区（分譲）とそれ以外（賃貸）の人たちとは、心理的に分断されたような状態であり、このような交流の場はあまりなかった。
委員 11	この場を設けていただいたことはとても感謝している。
	外国人の入居がかなり増えているので、外国料理のイベントなどを通して、コミュニケーションを図る取り組みが必要ではないか。
	子どもの声が昔に比べて聞こえて来なくなった。思いっきりボールを蹴って遊べるような整備された公園があるといい。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員 1 2	昔やっていた「けやき祭り」を少しずつでもいいから復活していけたら、新たなつながりも生まれてくるのではないかな。
	高齢だからと足踏みをしているとにも変わっていかないと思う。
議長 委員	人との交わりを深めていくことが大切であり、そのことは健康寿命を延伸することにつながると思う。
	1 街区の空き地にSDG s をテーマにした市民食堂があるといい。
議長	ここまでの発言を踏まえ、なにか質問などがあれば挙手をお願いする。
委員	自治会に加入していないと、災害の物資が届かないという話を聞いた。
委員	このことについて現状をお聞かせ願いたい。
委員	自治会協議会の立場でいうと、それらの物資などは、加入者からいた
	だいたお金で購入している。そのため、加入者が優先となるのは当たり前のことである。
市民生活部長	市としては、区別することはないが、災害の大きさによっては、公助の部分の動き出しに差が出るということはあるかと思われる。
委員	まずは自分たちで自分たちを守るといった自助、共助の考え方を基に、有事の際のは協力をいただけたら幸いである。
	市民食堂（居酒屋）のようなものがあったら嬉しいなと思うのだが、センター長の考えを伺いたい。
センター長	公民館は社会教育施設でありこれまでは難しいところではあるが、今回の地区センター機能の付加の中で、自治会総会後の乾杯程度の飲酒は認めるということになっている。
	委員提案のようなどころまでは進めていないのかもしれないが、少しずつ進んでいることは確かである。
委員	子どもの居場所づくりはもちろん大切だが、大人の居場所づくりについても、考えていけたら良いなと思っている。
	この会議も、いろいろな立場の人から様々な意見をいただいて進めていきたい。寄り合い所のようなイベントなどの実施を通して、多世代がふれあえる場を創出していきたいと考える。
議長	様々な意見が出たが、これ以外にもなにか意見があったら随時、事務局に連絡いただきたいと思います。
	4 その他
事務局	防災・防犯のための拠点としての取り組みについて
事務局	資料 3 に基づき説明
委員	進入禁止の場所などについて、URとの連携を密にしてほしい。
委員	近くの大い病院の責任者との打合せもしてほしい。
事務局	避難所の鍵は、近くに住んでいる人が持つようにしてほしい。
事務局	市の担当課などとも連携して検討していきたいが、避難所について

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員 事務局	たとえば、担当の危機管理防災課では、付近に住む自治会協議会加入者の人などに鍵を預け、有事の際に鍵を開けてもらことを考えていると聞いている。
	今回のこの会議を始まりとして、私たち事務局だけでなく、委員をはじめ、住民の皆さんと共に地域を作っていくということに大きな目的があるということを理解していただけたらありがたい。
	避難所開設訓練の対象と規模を教えてほしい。
	今後、自治会協議会やURなど関係する団体などに声をかけていく予定だが、まずは、委員の皆さんに参加いただけたらありがたいと思う。会場は講堂としており、公民館だよりなどで周知し、一般参加も募り、現時点では定員100名以内くらいで考えている。
委員	以前大阪に住んであり、阪神淡路大震災の際、1週間ほどボランティアを行った。大きな被害であるほど、現場はパニック状態となる。
	今回の訓練では、訓練としてきれいに終わらせずに、あえてパニックのような状態にいただけたら意味のあるものになると思う。
	また、防災に関する講習会などにはより多くの人に参加してもらい、まず知ってもらうことが一番大切であると思う。
	他に質問等があれば挙手を願う。
議長	ないようなので、最後に私から恐縮だが1点提案させていただく。
	近年、詐欺被害に遭う方が多いと感じているが、詐欺被害に遭わないように、そのポスター展を、市民センターやURの主催でもって開催してもらえたら良いと思っている。
	そのほか全体を通して質問があれば挙手を願う。
	(質問・意見なし)
議長 事務局	議長の職を解き、進行を事務局に返す。
	魅力と課題だけでなく、防犯・防災についての意見も多々いただき感謝申し上げます。
	令和6年度第2回武里大枝市民センター地域づくり推進会議を閉会とさせていただきます。
議事の顚末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和6年 10 月 17 日 署名者の職・氏名 会長 山本 健吉	